

## ART AND CEREMONY OF THE PURE LAND BUDDHISM

人がこの世を離れる時、極楽浄土から阿弥陀如来とその一行がお迎えに来て下さる。この臨終観 は日本で平安時代中期より広く行き渡りました。阿弥陀の来迎を願う強い思いは浄土教美術の源泉 となり、その様子を実演によって表現することも行われました。これが、迎講、来迎会、練り供養 などと称される行事です。

この行事の背景に、多くの物語や仏像・仏画によって育まれ、表されてきたイメージがあること はいうまでもありません。本展示では、練り供養とも関わる仏像・仏画の優品を紹介するとともに、 練り供養行事がその世界をいかにして再現していったのか、全貌を明らかにします。



《阿弥陀三尊来迎図》 鎌倉時代 滋賀·光明寺 観音菩薩が手に持つ蓮台に往生者が 乗せられているのは珍しい。



《刺繍 阿弥陀三尊来迎図》 室町時代 俗人女性の往生者が観音菩薩の 捧げる蓮台に乗り、極楽へ向かう。



《当麻曼荼羅(曼荼羅縁起付)》南北朝時代 龍谷大学 龍谷ミュージアム 極楽浄土の様子を描く当麻曼荼羅の左右に、それを織り成した 中将姫の物語を描く。



練り供養いまむかし 岡山県指定文化財 ~各地に伝わる練り供養~ 《菩薩面》 鎌倉時代 岡山・吉備津神社 演じられた往生極楽の宗教劇! 往生極楽を喜ぶ笑面(えみめん) その長い歴史をたどります が残るのが貴重。



供養をめぐる美術

岡山県指定文化財 《迎講阿弥陀如来像》 鎌倉時代 岡山・弘法寺 "着ぐるみ"のように内側に人が入れる 特殊な構造の木彫像。毎年5月5日の 弘法寺踟供養(ねりくよう)に登場する。



序章

練り供養とは

そもそも練り供養ってなあに?

まずは疑問にこたえます



第1章

のぞまれた臨終のかたち

~この世とあの世の造形~

浄土教美術の優品から、

練り供養のイメージの源をご紹介







撮影:飛鳥園

1~3:岡山・弘法寺 踟供養 4・5:奈良・當麻寺 聖衆来迎練供養会式

## 《特別実演》弘法寺踟供養〔要申込・定員あり〕

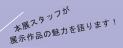
阿弥陀様と菩薩様のお迎えのありさまを立体再現。 日本最古(?)の"着ぐるみ"が登場する弘法寺踟供養をハイライトで実演します。 10月12日(土) 会場/旧植柳小学校(京都市下京区西洞院町466) 時間/13:30-15:30 出演/弘法寺踟供養保存会 ナビゲータ/關信子氏(本展監修、美術史家)

## 《記念講演会》(要申込・定員あり

(1)9月14日(土) 「練り供養のなりたち」關信子氏(本展監修、美術史家) ②9月23日(月·祝)「山陽の浄土教美術」中田利枝子氏(岡山県立美術館学芸課長) 会場/龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール 時間/13:30-15:00

## 《ギャラリーツアー》※申込不要

9月7、21、28日、10月5日(いずれも土曜日) 会場/龍谷ミュージアム展示室 時間/14:00-15:00



●特別実演・記念講演会への申込み方法 往復はがき、FAX、メール、ミュージアム受付での直接申込の いずれかでお申し込みください。●希望する日にちと講演タイトル名 ❷お名前(ふりがな) ❸〒ご住所 ●電話番号を明記の上、お申し込みください。 ※ご参加には「極楽へのいざない」展の観覧券(すでにご覧になった方はその半券)が必要です。観覧券は当日講演会場でもご購入いただけます。 申込先 〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前)

龍谷ミュージアム「極楽へのいざない」展 イベント申込係 FAX 075-351-2577 Email muse@ad.ryukoku.ac.jp



入館料 当日 前売·団体(20名以上) 一般 1,000円 800円 700円 500円 高大生 200円

前売券取扱い/7月20日(土)から9月6日(金) までチケットぴあ(Pコード: 765-808)、ローソン チケット(Lコード: 59416)、主要なコンビニエンス ストア(ファミリーマート、セブンイレブン、サーク ルK・サンクス、ミニストップ)などで発売

作品保護のため、期間中展示替えがあります。

# 条駅 旧植柳小学校 下鉄烏丸線 七条通 JR東海道本線

- JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
- ●地下鉄烏丸線「五条」駅から徒歩約10分
- 京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前 | 下車約2分 当館には専用の駐車場はございません。 ご来場の際は、バスなどの公共交通機関をご利用ください。



RYUKOKU MUSEUM

**∓600-8399** 

京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前) TEL. 075-351-2500 FAX. 075-351-2577 http://museum.ryukoku.ac.jp

